２０２７　年度　医療法人社団三成会　新百合ヶ丘総合病院　（病床数　563）【1年次】

受入人数	【1年次】2名

常勤・非常勤	研修手当						勤務時間	休暇				当直/月	宿舎	社会保険・労働保険等
	基本手当		賞与		時間外	休日		有給		夏季	年末年始			
	1年次	2年次	1年次	2年次				1年次	2年次					
常勤	360,000円		無し		有	有	平日8:30～17:30	14日		有給休暇を使用	有	約4回	有	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災加入

○ 研修診療科（必修科目）について

科目	研修内容（手技・症例数・指導医数等）
内科	消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、腎臓内科、脳神経内科、糖尿病・内分泌代謝内科の中から4週間～8週間ずつ研修を行います。 内科各領域の経験豊富な指導医のもと様々な疾患を有する患者を診察することで、的確に診断し治療する能力を身につけられるように充実した指導を受けることができます。検査や治療に積極的に参加し、内科的に必要な技能を習得します。患者とのコミュニケーションを通し、全人的な内科領域全般の診療を身につけます。また、チーム医療を実践し、患者中心の医療を経験することができます。 【医師数】 常勤51名　うち8年目以上37名、指導医講習会受講済み14名
救急科	重症度に関係なくあらゆる救急傷病患者を経験します。ABCDアプローチによる救急初期診療手順による診療法を学びます。 各種救急疾患に対応できる診断能力、簡単な救急処置法により、各種疾患の鑑別診断をする能力を修得します。 集中治療室(ICU、CCU)における重症患者の管理法を修得します。救急蘇生法の修得、各種ショックの診断と治療法の修得、多発外傷の初期診断と治療法の修得、各種急性薬物中毒の治療法などを修得します。 【研修目標】 救急診療に必要な知識・基本手技を習得します。 【医師数】 常勤10名　うち8年目以上7名、指導医講習会受講済み5名
外科	年間、約700件の手術を行っていますが、胃癌、大腸癌、膵臓癌などの悪性疾患から鼠径ヘルニアや胆嚢結石、痔核など良性疾患に対する手術を施行しています。近年、患者さんの侵襲を少なくする腹腔鏡手術が広がっていますが、当科においても積極的に行っています。悪性疾患では、切除不能進行再発癌に対する化学療法、緩和医療も当科で行っています。 【研修目標】 消化器外科の基本的な知識(創部やドレーンなどの管理)を習得します ・周術期における全身管理を習得します ・癌患者に対する肉体的、精神的サポートを学びます 【医師数】 常勤9名　うち8年目以上7名、指導医講習会受講済み4名
小児科	新生児、救急搬送患者、専門外来診療など、幅広く小児の診療を行っています。新生児では、分娩や帝王切開に立ち会い、新生児蘇生や新生児管理を行っています。外来ではプライマリーケアから二次救急までの診療を行っています。各種専門外来が揃っているため幅広い分野の疾患を経験できます。病棟では、下気道感染症、消化器感染症、尿路感染症、気管支喘息、川崎病などの入院治療や食物負荷試験などの検査入院も行っています。 【研修目標】 小児の特性を学び、小児のプライマリーケア、救急での初期対応を行えるようにします。 小児の一般的な処置を習得します。 【医師数】 常勤10名　うち8年目以上7名、指導医講習会受講済み2名 ※小児科、産婦人科のどちらかを当院で研修する。
産婦人科	周産期、腫瘍、生殖の全てについて、多くの患者さんを診療しています。特に腫瘍については、良性から悪性までの多くを腹腔鏡や子宮鏡、ロボット手術で行っており、腹腔鏡手術件数は年間1,500件超と、日本一の症例数を誇っています。生殖医療にも力を入れており、体外受精の採卵、胚移植を見学し、体外受精(IVF)の基本を理解できます。当科は約20人の専門医がおりますが、出身大学は多様であるため、医局の概念はありません。サブスペシャリティーの資格を持つ医師も多くいますので、様々な分野で高度な医療に触れることが可能です。 【研修目標】 正常分娩、帝王切開に立ち会い、管理を学ぶ。 婦人科手術に助手として参加し、基本を学ぶ。 体外受精を含めた不妊治療に触れ、概略を学ぶ。 【医師数】 常勤22名　うち8年目以上20名、指導医講習会受講済み5名 ※小児科、産婦人科のどちらかを当院で研修する。
精神科	2年目に慶應義塾大学病院で研修を行う。
一般外来	2年目に慶應義塾大学病院で研修を行う。

必修科目の研修ができない場合、選択可能な診療科

整形外科、脳神経外科、形成外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、麻酔科、眼科、放射線診断科、放射線治療科、リハビリテーション科

○研修アピール

当院は地域医療への貢献、高度先端医療の実践、最良の安心を得られる医療を目標に掲げています。
救急患者を積極的に受け入れており、さまざまな救急疾患に対応できる能力を養うことができます。
定位放射線治療機器 ロボット手術機器 da Vinci®、128列マルチスライスCT、PET-CT、
3テスラMRIなど最先端の医療機器を備え、高度な先進医療や予防医学を実践し、
一般診療のほか救急医療やがん診療にも貢献しています。
症例数が多く、さらに初期研修医の数に対し指導医数の数が多いため、手厚い指導をさせていただきます。

○研修医からのメッセージ

当院での研修の魅力は、研修医が積極的に症例や手技に当たれる環境です。救急科では研修医がファーストタッチを行い、診察や検査オーダーなどしていきます。救急医が常駐しており、その先生方と一緒にアセスメントを行うため、確かな臨床能力が身につきます。各診療科の先生方は教育熱心であり、研修医がCVカテーテル挿入や内視鏡などの手技を行う機会が沢山あり、かつ症例も幅広く経験できます。先生方もコメディカルの方も優しく接しやすく、建物も新しく綺麗なため、とても働きやすい環境です。

以下、慶應義塾大学病院から研修医への注意事項
・外科研修はその他の外科系の診療科への振り替えは認めません。
・必修科目がある病院では、必ず必修科目を研修してください。振り替えは認めません。

研修実施責任者　井廻　道夫

※問い合わせ先
担当部署・担当者名：総務課　本内

住所：川崎市麻生区古沢都古255

TEL：044-322-0461

E-mail：shinyuri_kensyu@mt.strins.or.jp